

## 中学校部活動の地域移行について

## 1 今年度の検討状況について

文化・スポーツ活動に係る関係課及び関係団体と連携し、「部活動との連携を考える会」及び「部活動のあり方検討委員会」において、部活動の地域移行に関する課題整理とともに、令和6年度からモデル事業の実施を目指した検討を行ってきました。

## 2 令和6年度モデル事業について

令和6年度から、教員以外の地域・民間指導者が指導を行う休日部活動を試行することで、効果検証を行います。

## (1)実施競技

・剣道

## (2)実施内容

①2校の剣道部に対し、地域・民間指導者を派遣します。(派遣型)

派遣校：衣川中学校、魚住中学校

②市剣道連盟主催で、全中学校を対象とした合同練習を実施します。(集合型)

会場：公共施設、中学校体育館

## (3)運営等

①モデル事業における休日練習は、原則、地域スポーツ活動として行います。

②参加生徒については、別途、保険に加入します。

③市剣道連盟に運営を委託し、原則、生徒に活動費は求めないこととします。

④指導者は、原則、全日本剣道連盟社会体育指導員初級以上の指導者資格を求めることとします。

## (4)効果・課題検証の主な視点

剣道でのモデル事業を通して得た知見を評価検証し、順次、他の競技や文化部活動にも広げていきたいと考えています。そのため、主に以下の視点から効果・課題の検証を行います。

## ①運営事務局の体制整備

休日練習の計画や地域・民間指導者の勤怠管理、緊急事態への対応等を統括する運営事務局の体制整備及び運営事務局と地域・民間指導者、学校との連携方法について検証します。

## ②指導者の発掘・確保

生徒たちにとって充実した活動ができるよう、資質を備えた地域・民間指導者の発掘・確保の方策について検証します。

## ③体育館等の施設利用

学校施設を利用する際、鍵の受け渡し等のルール整備を行い、学校と地域・民間指導者の連携がスムーズに行える体制について検証します。

#### ④地域移行に関する理解促進

今後、モデル事業について情報発信を行い、生徒・保護者、教職員に対して、部活動の地域移行について理解促進を図っていきたいと考えています。そのため、効果的な周知方法について検証します。

### 3 今後の主な課題

部活動の地域移行を踏まえ、中学生の新たな文化スポーツ活動のあり方や運営体制、活動内容等の課題について、引き続き、検討を進めます。

#### (1)運営団体・実施主体の整備充実

生徒が地域で行う文化スポーツ活動を支援するため、関係市長部局、体育協会、競技団体、クラブチーム等、関係団体とさらなる連携を図り、推進体制の充実に向けた検討を行います。

#### (2)会費の適切な設定と保護者負担のあり方

生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な範囲で低廉な会費の設定に向けた検討を行います。併せて、経済的に困窮する家庭の生徒に対する参加費用の支援等について検討を行います。

#### (3)教員等の兼職兼業

地域で行う文化スポーツ活動の指導を希望する教員等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、規定や運用の改善に向けた検討を行います。